



佐渡市立真野小学校

真野小だより



令和7年度 第7号

家庭数配付

令和7年11月20日

練習から全力

校長 高橋 高志

令和7年度の教育活動も半分を過ぎ、対外的な行事も10月30日に6年生が学校代表として参加した佐渡市小学校音楽発表会で一区切りとなりました。私は、6年生の歌声が大好きです。当日は出張で行けませんでした。後日、前任の森和人校長先生（金井小）とお会いした際、「真野小の合唱、とてもきれいでしたよ。」とお話をいただきました。練習の成果が発揮され、聞いている人にも感動となって伝わったことは、大きな喜びです。

さて、私は、1学期から繰り返し言い続けてきたことがあります。それは、「**練習から全力**」ということです。**今の真野っ子の課題**だと感じたからです。10月の全校朝会では、文化祭に向けて「練習を適当にやって本番だけががんばるのでは、うすっぺらな発表しかできません。練習から全力でやるからこそ見ている人を感動させることができるのです。」と伝えました。自分の思いを言葉や歌に乗せることは、大人でも簡単ではありません。何回も練習して初めて自分の思いが台詞や声、動作に乗ってくるのです。学習発表会では、そういった姿が随所に見られました。

例えば、2年生は学習発表会に向けて、「練習は本番のように、本番は練習のように」という合い言葉で取り組んでいました。練習を本番だと思って真剣に取り組むことで、緊張感のある場面でも自然と体が動き、心が落ち着きます。逆に練習で手を抜いてしまうと、いざという時に自信を持たず、力を十分に発揮できません。2年生の中には、休み時間に練習していた子もいました。本番では、一人一人がしっかりと言葉を発し、堂々と鉄棒や跳び箱などの技を披露していました。その姿を見て、**日々の全力の積み重ねが自分の力を形づくる**ことを改めて感じました。

このことは、学校や家庭で毎日行っている学習にも当てはまります。お子さんは、日々の学習にどのように向き合っていますか。授業や家庭学習は、ただ知識を積み重ねるだけの時間ではなく、自分の思考力や集中力を鍛える大切な場です。

毎日の学習で全力を尽くすことで、昨日より今日、今日より明日と少しずつ成長していきます。しかしその差は、努力しない者には決して埋めることはできないのです。

2学期も残り1か月、学校でも家庭でも子どもたちの「全力」の姿を価値づけていきましょう。